

本日の内容項目《希望と勇気、努力と強い意志》 【A・B・C・D】（○で囲む）

A：主として自分自身に関すること

B：主として人との関わりに関すること

C：主として集団や社会との関わりに関すること

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

本日の主題名《こんなに負けない心》

【1】主題解釈：この主題を学ぶ意義を捉えよう。

(1) まず「内容項目」について、自分自身の捉えを書き出してみましょう。

		自分なりに考えて（自己理解）	他の先生方と話して（他者理解）
価値理解	① この内容項目の 大切さ ※それはなぜ大切なのでしょうか	・より高い目標があるからこそ頑張ろうという気持ちが高まる。目標の実現に向けて着実に努力し達成することが希望となり、自信や勇気となる。	・日々生きていくうえで、自分なりの目標や夢をもって生きていくの方が、人生が有意義なものになる。
人間理解（誰にでもある 弱さ ）	② この内容項目の 難しさ ※いつでもできますか。誰に対してもできますか。	・順調にいかなかったり、困難に直面したときには、自信を無くしたり、自分を肯定できなくなったりする。	・夢や希望は抱いているが、その目標に向かってコツコツと努力する事は苦手。 ・夢や希望に向かって努力していても大きな壁にぶつかった時に、あきらめてしまう。
人間理解（弱さを越えてよりよく生きようとする 強さ ） 深まった 価値理解 （新たな気づき）	③ それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。	・困難や失敗に直面しても、自分を励まし、乗り越えようとする人間の強さをもつことで、さらに高い目標に挑戦しようと思えることが人生の充実につながる。	・人生を豊かなものにするためにも、有意義な日々を送るためにも、夢や希望をもち、コツコツと努力し続けることが大事。

(2) 学習指導要領を見てみましょう。

④学習指導要領の該当ページに書かれている「大切さ」や「難しさ」、「指導の要点」など。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。この段階は、高い理想を追い求める一方、目標とする生き方、夢や希望にあこがれの気持ちだけで終始し、努力せずあきらめてしまう時期である。苦しくてもくじけずに努力して物事をやり抜き、失敗を重ねながら夢を実現した人に触れ、希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さを考えることを通して、児童の中により積極的で前向きな自己像が形成されるようにすることが大切である。

(3) 「本日の主題」に焦点化して考えてみましょう。

⑤本日の主題はなぜ、児童生徒にとって大切なのだと思いますか。

自分で目標を設定し、その達成を目指すことは生活や人生を充実したものにする。困難や失敗を経験したときには、目標達成に向けた意志や自信を失い、自己肯定感をもてなくなってしまうこともある。困難に負けず目標に向かって努力し続けるためには、困難や失敗を受け止め、希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められる。

⑤に照らして、本学級の児童生徒は、どのような実態にありますか。（できているところ、まだのところ）

- ・身近な目標があり、それに向かって努力している。
- ・友だちの助けを借りながら、最後までやりきろうとする姿が見られる。
- ・挫折感や「やっても無理」とあきらめてしまう姿も見られる。
- ・思うように結果がでないにあきらめてしまうような発言をすることがある。

どんな指導の方法で授業するか、考えましょう。まず「教材」を見てみましょう。

【2】：教材のどこを用いて授業を作るのか、考えよう。

本日の教材名《ヘレンと共に-アニー・サリバン》 ㊦・中 第《5》学年 出版社・教科書名《日本文教出版》

⑦登場人物の役割を捉えよう（主題に照らして）

※主人公はどんなことに悩んでいますか。また他の人物は主人公にとってどのような位置にいますか。

アニー・サリバン…生まれつき視力が弱く、一時失明したこともある。三度の手術で視力を取り戻す。目が見えることに感謝し、目の不自由な人たちのために役立ちたいと思う。六才のヘレン・ケラーの家庭教師を引き受ける。ヘレンのわがまを直すことを決心し、ヘレンに厳しく教えると周りの陰口を言われる。なんとしてもヘレンに文字を教えたいと根気強く指話法でヘレンに文字を教え続ける。

ヘレン・ケラー…目と耳と口の三つが不自由な女の子。わがまま。WATER をきっかけに次々と物の名前と文字を覚えた。大学に入学し、一日も休まず通った。多くの困難にもくじけず、世界中の身体しょうがい者の福祉のために働いた。

⑧主人公の悩み・葛藤・迷いなどの「難しさ」の部分はどこでしょうか。また、「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったりする部分はどこでしょうか。

ヘレンのわがまを直そうときびしく指導していると、周りの人から陰口を言われる。

文字を教えてもヘレンは文字があることさえ知らない。

アニーは、自分の考えを分かってもらえると信じて、根気強くヘレンを導いた。

周りから陰口を言われながらも、ヘレンの自立を願い、愛情と信念をもって教育し続けた。

【3】授業のねらいとゴールの姿、それを導く発問と板書を考えよう。

<p>⑨ねらい：「〇〇する活動を通して、～～しようとする道徳的な判断力（道徳的心情、実践意欲と態度）を高める」</p>	<p>ねらい：「周りの人から『きびしすぎる』と言われてヘレンを指導し続けるアニーの気持ちを考えることを通して、夢や目標の達成を目指して困難があってもくじけずに努力しようとする心情を養う。」</p>
<p>⑩ゴールの姿：⑨のねらいが達成されたとして、授業の最後には、例えばどのような言葉が児童生徒から出てくるとよいでしょう。複数考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より高い目標をもつ。 ・強い意志をもって前向きに努力する。 ・乗り越えたら達成感があると思ってがんばる。 ・自分はやればできると思って乗り越えたい。 ・あきらめないで続ける。 ・できるまであきらめないで続ける。 ・人に言われるのではなく自分で決める。
<p>⑪そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「悩みや葛藤など」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。</p>	<p>ヘレンが家庭教師を引き受けたとき →アニーは不安や逃げたい気持ちはなかったのだろうか。 周りの人から「きびしすぎる。」と言われながらもヘレンを指導しているとき、アニーはどんな気持ちだったでしょう。</p>
<p>⑫そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったり」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。</p>	<p>ヘレンが『WATER』という言葉の意味が分かったとき、アニーはどんな思いでヘレンを抱きしめたのでしょうか。</p>

※上記をもとに、思考を促す発問計画、板書計画を作成していきましょう！